

シンポジウム

人口減少時代の

防災に取り組む
すべての人へ

豪雨リスクに向き合う地域の姿

— 被災経験から見てきた防災と生活再建 —

2026年 2月15日(日)

●時 間：開場 13:00 開始 13:30
終了 17:10 (予定)

●参加費：無料

●会 場：久留米ビジネスプラザ（大ホール）

●定 員：200名

行政職員

支援団体

研究者

住民

それぞれの地域から、
それぞれの立場で、
それぞれの経験を語ります。

第1部

人口減少時代の
豪雨リスクについて

第2部

事例報告

第3部

パネルディスカッション

登壇者

コーディネーター
井若 和久

一般社団法人さいわい代表理事。徳島大学人と地域共創センター特任助教。徳島被災者支援プラットフォーム副理事長



酒井 明子

福井大学名誉教授、大阪大学博士（人間科学）、災害看護研究所顧問。専門は災害心理学



上田 知史

石川県能登町総務課課参事（和歌山海南市より長期派遣中）。前海南市危機管理課長



彌永 恵理

「もしもに備えるいつもをサポート」NPO法人つなぎteおおむた理事長



杉山 高志

九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門 准教授

●佐野 理 / 久留米市総務部防災対策課長

●和田 健 / 久留米市社会福祉協議会地域福祉課主査

●権藤 恭徳 / 久留米市社会福祉協議会地域福祉課

●矢野 井史 / 竹野校区まちづくり振興会副会長（防災リーダー）

●宮崎 利清 / 富本地区自治会長（竹野校区）

●吉岡 秀蔵 / 三明寺地区自治会長（竹野校区）

●江崎 太郎 / 特定非営利活動法人 YNF 代表理事

●吉田 容豪 / 特定非営利活動法人 YNF 九州エリア担当

主催：特定非営利活動法人 YNF

後援：久留米市

シンポジウムテーマ ～防災と被災後の生活再建を、地域の実践から捉え直す～

人口減少が進む中、豪雨リスクへの備えや被災後の生活再建は、制度や計画を整えるだけでは機能しにくくなっています。

人によって関心の持ち方はさまざまで、地域のつながりも以前とは変わってきています。そうした違いが、災害時の行動や支援のあり方に影響しています。

被災地の経験から学びながら、防災と生活再建を切り離さずに考えることで、地域での備えをより実感のあるものにしていくことを目指します。

プログラム

※ プログラムは変更になる可能性もございます。

第1部

13:40 ～ 14:40

人口減少時代の豪雨リスクについて

久留米を含む各地域からの登壇者より、それぞれの地域での取り組みや直面する課題について問いかける。

第2部

14:50 ～ 15:50

事例報告

令和5年7月豪雨(久留米)での活動や事例の報告。
(個人への伴走、コミュニティへの伴走、共通するアウトリーチの重要性など)

第3部

16:00 ～ 17:00

パネルディスカッション

各地域(他自治体・被災地)における豪雨対応・生活再建の実践から学ぶ。
コーディネーター進行のもと、防災と再建の接続点について議論する。

会場 / 福岡県久留米市宮ノ陣4丁目29-11

お問い合わせ /
kurume_symposium@saigaiynf.org
080-3902-1550 (事務局)



お申込みは

←Google フォーム または
↓FAXで



お申し込み (FAX) 092-834-2523

氏名 (フルネーム)				携帯電話番号		
メールアドレス						
所属団体 (任意)				人数	人	

【申込締め切り】2026年2月13日

※定員を大きく超えた場合には先に締め切らせていただく可能性があります

※登録いただいた個人情報は特定非営利活動法人 YNF が厳重に管理します。当事業以外の目的には使用しません。